



# 大久保小だより



平成30年7月30日第5号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関21

048(854)7636

男子147名女子122名計269名

学校教育目標 **カいっぱい かしく やさしく たくましく**  
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

## 地域の中で育つ大久保の子ども

### 校長 金子 要一

いよいよ明日から38日間の夏休みが始まります。長い夏休みに何をするか、どこに行くかなどの計画を立てたり、準備をしたりする今の時期はとても楽しいものです。ご家庭でよく話し合っ、楽しい夏休みにしてください。

また、来週の23日から個人面談が始まります。時間に限りがありますので、話したいことや質問事項などを事前にメモをしておくなど、有効に活用してください。

夏休みに先立って、本校の学校地域連携コーディネーターさん、PTA役員の方々と今月14日に行われた八雲祭（五関、塚本、宿）と白鍬夏祭りに、ごあいさつにいきました。どの会場にも、たくさんの子もたちが参加していました。

強い日差しのなか、勇ましい掛け声とともに大人が担ぐ立派な神輿に続いて、それより一回り以上小さい、それでいて本格的な子ども神輿が地域を練り歩きました。子どもたちも元気に掛け声で、神輿を担いでいました。

神輿やお囃子、太鼓などで盛り上がる大久保地区の祭りのように、子どもたちが地域に伝わる文化に触れたり、伝統行事に参加できるのは、近年、とても難しくなりました。しかし、それを絶やすことなく、今なお引き継ぎ、継続しておられる地域の方々には心より感謝いたします。

そして、祭りに伺った際、地域の方から、祭りの段取りは文章にして残しているわけではなく、年長者が次の世代に教える「口伝（くでん）」で引き継いでいく、というお話を聞きました。子どもたちは、今は大人に導かれて祭りに参加しているだけですが、成長するにつれ、祭りを運営する側になることなのでしょう。大久保の子どもは地域の大人に見守られ、教えられて育っていくことを実感しました。

この4月以降、世間では小学生に関連する事件がいくつも発生しました。その都度、保護者の方々に呼び掛けるなど協力を仰ぎましたが、お祭り同様、地域の方々にも子どもたちを見守り、導いていただきますようお願いいたします。そしてこれからも大勢の子どもたちが地域の伝統行事に参加して、大久保地区の次代の担い手になることを願っています。

さて、夏休みにやっていただきたいことがあります。それは、疾病治療です。歯科や内科などの健診が終了しました。治療が必要な子どもには通知を渡しました。疾病通知を受け取ったご家庭はぜひ夏休みを利用して治療をしてください。本校は歯の治療率が特に低いようです。歯は自然治癒しません。よろしくお願ひします。

2学期の始業式では元気で健康な児童のみなさんと会えることを楽しみにしています。

